

数年前から我々の「絵」の中心にはリニアがありました。ダンブ事業と警備事業は、その絵を起点として誕生しました。この二つの新規事業が力を付けるのに比例して舗装・土木をドメインとする建設業者としての幅も広がるはずです。他にも、我社ならではのアスファルト合材プラント、建設廃材の中間処理施設、建築、砂、建材商社、そして介護、農業といった広い切り口を活かし「あの会社にすべて任せておけば大丈夫」と、安心感を与えるワンストップ・ソリューション・カンパニーを目指し努力を重ねてゆく所存であります。

どうぞ、本年も引き続きご愛顧賜らんことをお願い申し上げます。

明けましておめでとうございま
す。謹んで新年のお慶びを申し上
げると共に、今年一年が皆様にと
て良き年となることをお祈り申し
上げます。

さて、私共は、
3年を一つの経営
スパンと捉え、3
年後の理想の姿を
絵にし、そこに到
着するためには、
いつ何をすべきか
とバックヤースト
思考で経営戦略を
組み立ててゆくことを続けており
ます。

新年のご挨拶



中山道ひし屋資料館

恵那市大井町の旧大井宿は、中山道美濃路起つての

恵那市大井町の旧大井宿本陣を中心とする一帯は、江戸時代には、中山道美濃路きっての賑わいをみせていた。その本陣のほど近くに大井村の庄屋を務めた商家古山家があり、現在は、「中山道ひし屋資料館」として中山道観光のランドマークとなっている。

江戸の町屋建築の特色がそのまま残り、歴史ある建物自体が一番の見どころだ。恵那駅からも徒歩10分と近く近年激増している中山道を歩くインバウンド必見の地と人気を博している。



利用可能時間 9:00～17:00
(入館は16:30まで)
休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
入館料：大人200円、18歳以下無料



中山道じねんじょ農園

昨秋からの収穫もほぼ終わりを迎えております。一昨年、昨年と慣れない作業ということあって思うような生産ができませんでしたが、三年目でようやく予定通りの収穫となりました。まさに、「三度目の正直」「石の上にも三年」と言ったところです。

さて、中山道じねんじょ農園は、自然薯づくりのオーソリティである「中山道水戸屋」さんの指導を得てパイプを使用せず、数々ある育成ノウハウに沿って栽培をしております。こうして、栽培された自然薯は、味・粘り・色・香りとどれをとっても天然の自然薯とそん色ないものとなります。



写真右が中山道じねんじょ農園の自然薯。
左は、パイプを使用した一般的な栽培方法のものです。
自然薯そのものの外観は殆ど一緒ですが、すりおろす
と味も粘りも色も香りも全く別物になります。

また現在、地域の様々な業種の方々とのコラボで六次化商品の開発をすすめております。一部すでに商品化したものもありますが、今後さらに業務用なども含めて品数を増やし名実ともに東美濃の名産品と呼ばれるよう努力を続けてゆく所存であります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

分に起こつた現象に納得が出来ました。：「そうか、寿命なら仕方がないか…。」などと言つてはいられません。この先どうするかが、アラフィフの課題です!! 大大切なことは、①睡眠、②食事、③運動、④感情（クヨクヨしない）。「な～んだ。よく言われていることだよね。」と侮つてはいけない！これをすべて実践し、継続することが難しいですよね。そして、人はそれぞれ持つているエネルギーの大きさが違う為、人と比べて頑張りすぎる人が最も良くないそうです。生活習慣改善を継続しつつ、自分のエネルギーに合うように手を抜くこと、完ぺき主義をやめること。頑張らなくて良いなら、続けられる気がしませんか？

(around 50) の現在、休日はとにかく家でじっとして過ごします。休んでエネルギーを蓄えないと月曜が辛いのです。同世代の友人達も、カラダのどこかに故障が生じているようで、病気が話題の中心です。そんな時、書店で『老いる自分をゆるしてあげる（著者：上大岡トメ）』という本を見つけました。そこには「自然界では、生殖できなくなる=死。なのに人間は閉経しても生きている。：ヒトの寿命の設定は五十歳まで。つまり五十歳以降は設定されていない。環境にうまく適合したり、自分のカラダのメンテナンスができたら百歳まで生きられるかもしれない。でもそうじゃないと五十歳で寿命を終えてしまう。五十歳からは人間だけにある特

春・夏・秋号と、記者の経験した病気と症状の記事を掲載しました。今回は、その完結編です。アラフォー（around 40）時代はまだまだ元気で、休日には遠出をし、連休には一泊旅行にも出掛けていました。四十代後半に大きな病気をし、そこから調子を崩していった感じです。

企業理念の意味するところ

わが社の思想、進むべき方向性。
そして、当社において「正しい考え方」とは何であるのか。

それらを簡潔に要約したのが、右の企業理念です。我々セントラルグループ全社員は、この企業理念に価値観を共有し結束し、地域の安全で快適な生活基盤を創造する担い手と成るべく進化を続けて行く所存です。

我々、セントラルグループ全社員は、
企業理念の根幹たる
人・姿勢・心を研ぎ、
社業の繁栄を築き、
地域の安全で快適な生活基盤を
創造する担い手として、
社会に貢献することを使命とする。

- 一、人・姿勢・心の基本は挨拶にあると知れ
- 一、礼儀を正し、
- 前向きで素直な人
- 一、信用を第一とし、
- 知恵と工夫と努力で利益を追求せよ
- 一、反省し改善し進化せよ

社是
企業は人なり
人は姿勢なり
姿勢は心なり

